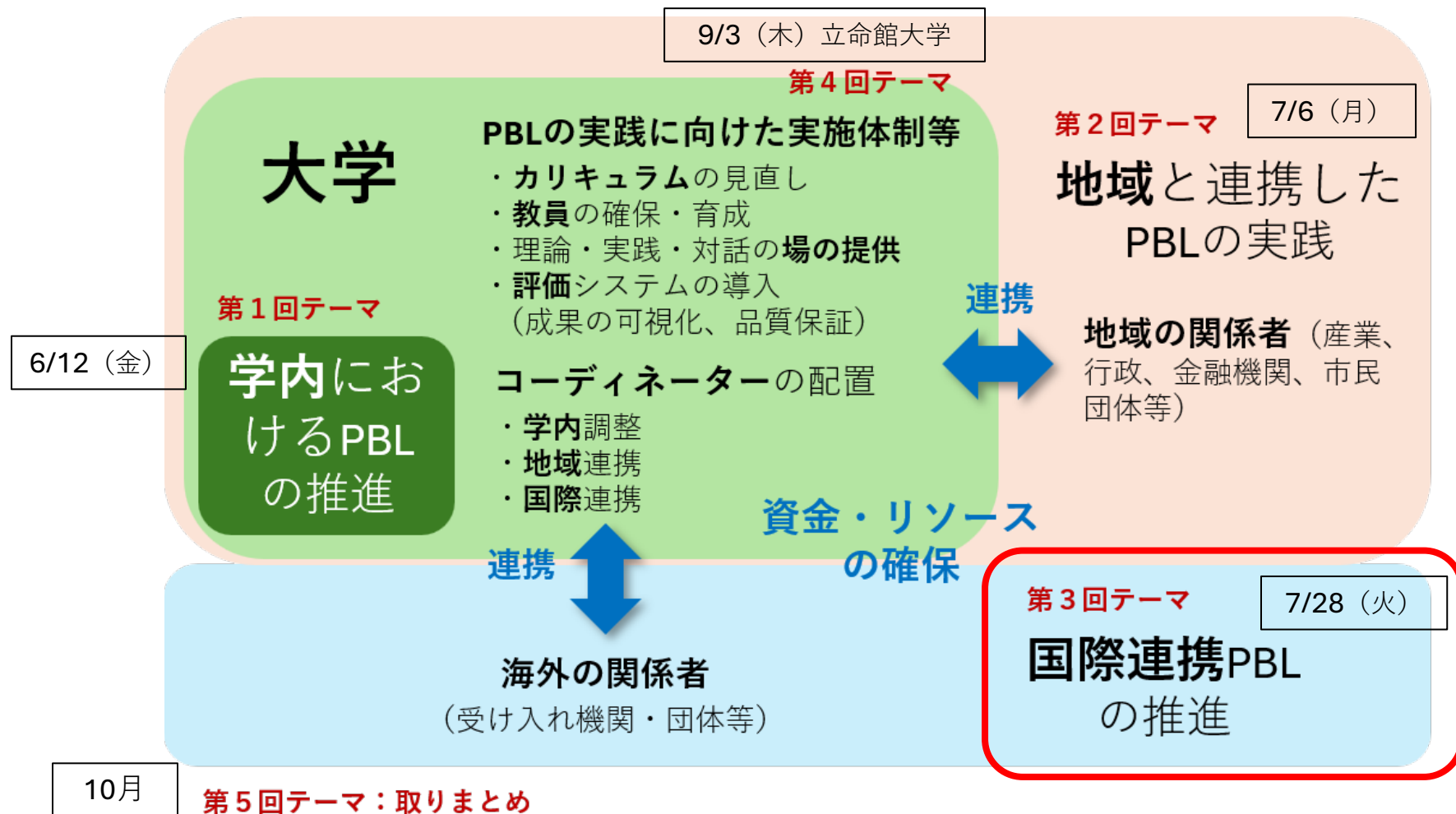


令和8年度 大学等における持続可能な地域づくりの担い手育成検討会

目的：昨年度の検討会の成果を踏まえ、大学の様々な組織形態による多様なPBLの取組事例や全体的な傾向を示すことにより**各大学におけるPBL実践の再現性を高め、その体系化及びその推進に必要な施策等の整理**を通じ、引き続き**持続可能な地域づくりを支える人材を育成する**



令和8年度 大学等における持続可能な地域づくりの担い手育成検討会

第3回検討会（7月28日）：国際連携PBLの推進

有識者（話題提供）：

松岡 秀明 独立行政法人国際協力機構（JICA）地球環境部 次長
兼 環境管理・気候変動対策グループ長

北脇 秀敏 東洋大学 国際学研究科 教授

検討委員：

（下線：本日まで参加 *オンライン）

持続可能な地域共創WG（地域WG）

座長 **阿部 匡伸** 岡山大学 理事（デジタルトランスフォーメーション・グリーントランスフォーメーション担当）／上席副学長

松本 亨 北九州市立大学 教授／環境技術研究所
カーボンニュートラル推進部門長

吉績 巳貴 立命館大学 食マネジメント学部 教授

持続可能社会の担い手育成WG（担い手WG）

岩本 泰 東海大学 教養学部 教授

小沢 晴司 宮城大学 事業構想学群 教授*

庄子 真樹 宮城大学 研究推進・地域未来共創センター 准教授

二ノ宮リム さち 立教大学 環境学部 教授

環境省

黒部 一隆 大臣官房総合政策課 環境教育推進室 室長

第2回検討会（7月7日）：地域と連携したPBLの実践

有識者（話題提供）：

林 靖人 信州大学 サステナブル社会協創学環（仮称）副学長（エンロールメント・マネジメント担当）／グリーン社会協創機構 副機構長

細目 圭佑 宮崎大学 工学教育研究部（官民学連携/GX研究室責任者）特別准教授（龍谷大学 客員教授（大学PBL基幹システム開発））

主な議論の振り返り

若い人材が一次産業を含めたフィールドに入っていく仕組み
（それをクレジットという形で還元する）の構築

それを教育の現場に落とし込む
実験を宮崎大学で進めている

農家の繁忙期に学生を送り込む「援農」
（平均6時間ほど）を大学として支援

学生のPBL活動の行動ログをデータベース化
その環境貢献価値を可視化

会得したスキルのデータベース化も試行中

学習成果の可視化：カーボンクレジットを
細分化して個人に紐付ける（位置情報も）

← 資金確保手段

実際に実務家教員としてヒト・モノ・カネ
を投資してやってみたら、成果が見えてきた
・・・だいたい3年ほどあれば実装可能

様々な大学や自治体とも連携しながら、この
ような活動を広げられないか（すでに様々な
大学の先生方と20人ほどのチームを結成）

実務家教員を地域コーディネーターとして育
成する／機能させる ← 人材確保手段

PBLの評価項目やスコア決めをどうするか
PBLをどのようにオープン化するか

← PBLの素材や評価手法の共有

2-7 活動内容：Jクレジット細分化と教育の掛け合わせ



SBLとPBL・地域PBLの主な違い

答えのない問題を解決する

信州大学とアルピコグループの共同研究を通じて

これまでにない新しいものの価値を創造する

観点	SBL（解がある）	地域PBL（解がない）	
学習範囲	- 大学（教員）が決める - 明確・狭い - 基礎～先端の研究知（≒教科書など）	関係者全員で決める - 曖昧・広い - 企画・構想の手法（※PJTに関連する範囲全て）	何のためにやるのか？
評価内容	大学：知識獲得等	大学：経験獲得（知の実践） 地域：問題解決/価値創出	目的・目標の合意形成
評価方法	Inputチェック テスト・レポート等	Output/Outcomeチェック 提案や実践の価値付け	オーナーの明確化
費用負担	固定	可変（交通費や宿泊費）	企画力・構想力や経験値を評価する
教員負担	固定	可変（FWや報告会調整）	
進行管理	教員	全体：教員・地域 実行：学生	
調整範囲	原則、教員と学生の2者間	大学（教員）と学生と地域の 3.5者間で実施が必要	

来年度、**サステナブル社会協創学環**を新設予定（9番目の学部に対応）

地域関係者との「対話と共創」を通じ、地域PBLを「コーディネート、プロデュース」していくことが肝
 ・ ・ ・ただしそれができる人材は非常に限られる

令和8年度 大学等における持続可能な地域づくりの担い手育成検討会

第4回テーマ

大学

PBLの実践に向けた実施体制等

- ・カリキュラムの見直し
- ・教員の確保・育成
- ・理論・実践・対話の場の提供
- ・評価システムの導入
(成果の可視化、品質保証)

第2回テーマ

地域と連携した PBLの実践

地域の関係者（産業、
行政、金融機関、市民
団体等）

連携

資金・リソース
の確保

連携

第3回テーマ

国際連携PBL の推進

海外の関係者
(受け入れ機関・団体等)

第1回テーマ

学内にお けるPBL の推進

コーディネーターの配置
・学内調整
・地域連携
・国際連携

第5回テーマ：取りまとめ

13:30～14:40

第1部：PBLの実践に向けた実施体制等

- ・岡山大学 理事（デジタルトランスフォーメーション・グリーントランスフォーメーション担当）／上席副学長 **阿部 匡伸**
- ・龍谷大学 副学長（政策学部 政策学科 教授） **深尾 昌峰**
- ・宮崎大学 工学教育研究部 特別准教授 **細目 圭佑**
- ・立命館大学 産業社会学部 現代社会学科 教授 **永野 聡**

第4回 9月3日（木）

立命館大学 衣笠キャンパス

近日中に案内
(参加者募集)

午前：視察

9:30 JR花園駅 集合（徒歩 15分）

10:00-11:30 **妙心寺 長慶院 視察**

エネルギー自立の取組（京都市脱炭素先行地域）

11:30-11:45 移動（徒歩15分）

11:45-13:30 昼食（立命館大学 衣笠キャンパス）

15:00～16:45

第2部：地域とあゆむ持続可能な未来へ ～立命館における人材育成・社会連携～

- ・立命館大学 経済学部 教授 **島田 幸司**
立命館の環境・環境人材育成と京都市との連携
- ・京都市 環境政策局 地球温暖化対策室長 **川崎 明浩**
脱炭素先行地域コンソーシアム、環境人材育成
- ・立命館大学 理工学部 教授 **近本 智行**
キャンパス自体の脱炭素（Scope3）
- ・立命館大学 生命科学部 助教 **Tran Quoc Thinh**
バイオ炭・水田中干しのカーボנקレジット
- ・立命館大学 食マネジメント学部 准教授 **光斎 翔貴**
オーシャンリペア（大学発スタートアップ）
- ・立命館大学 食マネジメント学部 教授 **吉績 巳貴**（進行）